SUNDAY, OCTOBER 20, 1929. NO. 10769

The Japanese American News

昭和四年十月二十日 【日曜日】 第一万七百六十九號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 0239 - 0238
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

日曜講壇

價値判斷としての宗教

自然界の現象といふものは誠に不思議にも整然として秩序があり美しくしてよく調和してゐる。何うして斯かる整齊、調和と優美とが顯れ來たるものであらうか。昔から人類がこれを怪しみ、これを驚いたのである。伯樂の詩人は天空は神の榮光を顯し、日は新婚の祝ひ殿を出づ、が如く云々と歌ひ出で、この天地の美を讃美してゐる物語りに美術に人間がいかに天地の美さ不思議とに驚いたことであらうか。

△

其處に斯かる世界が實現せられる以上その天地の根底が知情意を有する存在であるに相違ないといふ考へ方に達することは淘に自然の理數こいはなくてはならん、殊に人間自身の内に働く驚くべき精神現象、靈識の作用といふものに考へ及ぶとき吾々は天地の根底がこれと相似たるものでなくてはならんと考へることは止むを得ない行き方ではなからうか、美しき花、鳥かなる小川の囀、壯大なる星辰の運行、この中には驚くべき知力が顯はれてゐないであらうか。吾々は濃やかにして婉しき感情の作用が此處に現はれないであらうか、偉大なる天地の大力が寸毫洩れざる法則によつて維持し行くその事に大なる意志の表現がないであらうか。

△

斯く眺じ來るとき吾等は天地の現象を通じて其處に無限大の人格、絶對の人格といふものを考へざるを得ないのである。それ故宇宙の根底が一大人格、絶對の力の支配によつてゐるものであると考へることは無理からぬ推論の經路であるといはなくてはならん。其處に宇宙の根底は人格であること斷定するのである。これを人格として崇拜する事が古今東西、何づれの民族にも自然に行はれて來たのである。

△

然るに科學進歩し一切の迷信を打破することなつた、凡て不合理なること、說明の出來ないものはこれを排斥し放棄したのである。それで今日行はれてゐる寺院、教會、神社などの一切の不合理な要素を除去しやうとする努力が現れ、多くの人々が相、マッケン、ター、キング氏、再び審議したがこれはヤクドナルド人加以來二度目の會議であるとて一顧の價値だなきものゝ如く考ふるやうになつた。

△

然しながら其處に問題がある。それは人間の生活といふものが必ずしも理智の世界だけではないといふ事である。例へばお互ひの生活の事をよつと考へて見る。常生活に著しく大なる役割をこの感情意志の生活が吾々の日演ずるものである事は疑ひなきことである。自然の數であつて宗教を一概に迷信呼ばはりすることは、人間生活の失當なる所以である。

△

のみならず吾等の生活は大部分價値判斷によつて動いてゐる。價値の上から說明し得ないことも理論の上から說明し得ないことも、保存して行く種きある、其處に實は人間の美はしいものを悉く抱擁せられ維持せられて行くのである。されば人間は宗教を以て價値の保存であるといつた。人間の情操が奇くも培養せられ、不思議にも人格生命の中に何となく神秘なる超脫境に開かれてゆく。この大なる價値が保存されるさいふことは、自然の數であつて宗教を一概に迷信呼ばはりすることは、人間生活の失當なる所以である。

△

人間の生活は大部分價値判斷によつて動いてゐる。價値のあるものはこれを永遠に

桑港灣沿岸の大道路の開通式

愈々本日盛大に擧行

クロニクル自動車記者のピックインまで仕立て、開通式を盛大にする仕組である。リン氏が桑港灣沿岸からサンマテオ郡へ通ずる大ハイウエーの命名を提唱したのは今から約七年前のことであつたが、この大ハイウエーは九百萬弗の巨費を投じて最近まつたく完成したので、いよ〜本日午後二時より盛大な開通式が擧行されるが、當日は桑港郡會議員ハベンナー氏が司會者となり、左の有力者が一場の祝辭をのべる筈である

市長ルロフ　知事ヤング　州議員ウイルチ　その他數氏

コーマン夫人が數千の見物人の先頭に立つて『アイ　ラブ　ユー　カリフオルニア！』なる歌を高唱して大いに氣勢を添へられ、二參事官は一千名からの樂隊を指揮するはずで、當日のクライマックスは實に英文なものがあらう

新道路沿線　工場簇出

濟經的に大發展す

土地の狹隘を嘆じてゐる桑港市は、今ハイウエーの建設されたことは常市の能率發展に對して非常な福音を實すわけであるが、新道路沿線にはすでに十五の工場が簇出の傾向にあり、サンマテオ郡にはカーチス社が五百萬弗の巨費を投じて一大飛行場の建設を計畫しているから、ハイウエーが桑港の經濟的發展にもたらす影響　英文なものがあらう

銀行施設の進歩

優秀船内に住友出張所

我在米國諸間に特にお馴染の住友銀行が日本郵船會社桑港航路の新造三優秀船淺間丸、龍田丸および秩父丸に船内出張所を設置し、乘船客に親切便宜をはかることになつたことは既に報導せしところなるが此の船内出張所につき同行

桑港支店長　白尾藤策氏は曰く「住友銀行は夙に海外事業は勿論廣く海外に發展の同胞に對しても、ならびに歐米旅行者各位の御便宜のためあらゆる努力をしてきましたが今回日本郵船會社桑港航路船として優秀淺間丸、龍田丸、および秩父丸の建造を見るに當り日米間の旅行者の增加の傾向あるに鑑み、行は前記優秀船内に出張所を設置して内外顧客ならびに一般船客の御便宜をはかることになりました。その第一船淺間丸は去る十日横濱解纜處女航海の途、二十二バーセント方の激增を示のほか常桑港へは來る二十五日入港の豪客であります

船内出張所では毎日米國または日本からの無線電信により當替相場を發表し米貨と日本貨との換算表を送付し、チェックの換算表、ラベラース、または支拂指圖書類の電信送金または支拂指圖書類の電信送金または普通送金の支拂ひ並びに船内上から船内宛の電信送金または普通送金の取組も取扱ひます。なほ船内から

加州の總財産

百八十五億弗に上らん　昨年より二割增加

（サクラメント）加州監督官ラレイエル氏の發表では本年度の加州總財産評價額は九十八億七千五百九十萬三千百八十四弗とあるが、昨年度の評價額に比して十七億六千二百四十五百九十一弗の增加を示し、二十二バーセント方の激增を示してゐる。政府筋の評價は時價の七割方

日本内地の住友銀行へ

預金ご御申込みになることも出來るやうになりますから御便利とご見御安心でございます。殊に内地觀光のため御歸朝のお方は特に便利なる行横濱支店の特別定期預金（全國の住友銀行本支店といつでも自由に御引出が出來ます）を船内でお申込みになれば御上陸後手數もはぶけ最も御便利であります

斯樣に船の中に銀行の出張所を設けましたのは大西洋は既に英國のミッドランド銀行、元米國のファーマースロー

シアンドラストコムパニーなどの世界的屈指の大銀行によつて實行せられ旅客に非常な便利をあたへてゐるのであります。太平洋におきましては實に住友銀行をもつて嚆矢とするものであります。現代の最も進歩的な銀行施設の一と申さねばなりません。何卒多數の御方々が有効に御利用くださらんことを希ひいたします」云々

米國の貿易　依然好況

出超著し

（華府）本年一月から九月末までの米國輸出總額は三十八億四千九百二十一萬八千弗で、昨年同期間の三十五億五千七百五十八萬六千弗に比して約三億弗の增加であるが、輸入は三十三億九千六百八十八萬三千弗で、昨年同期は三十億七千萬弗餘であつたから約三億弗餘の增加である。

（單位百萬弗）

	輸入	輸出
本年	三五三	四四二
昨年	三一九	四二一

經濟講話

金解禁の話

（五）

田島生

震災によつて巨額の物資を輸入し、そのバランスを拂ひのため、然外國へ流れ出べき、正貨を無理、國内に引止めておいたから、日本としては實力以上の正貨を保有し、通貨が膨脹することになつて終つた

▲通貨……お金が潮目轉がつてゐることになれば、お金の價値が低くなるこは、商品の價値　低くなることである。

▲……お金が潮目轉がつてゐることになれば、お金の價値が低くなるこは、商品の價値　低くなることである。

▲……日本ばかりが物價の高い事は日本として、輸出振、輸入增加を招き、一層入超を助長することゝなるばかりでなく物價の人爲的に高いことは、事業經營上にも致命的の缺點が自然的に發現する

▲……國内物價、高い呼値を標準として事業の設算基礎を確實な支出、更に財產評價、計上利益等もこの高い呼値を普通の事として計算せられるから、日本におけるすべての事業に關する計算はいづれあ

▲……やはやなものであるを免れない。濱口内閣成立と共に日本のすべての株が一齊に暴落したのは、此間の消息を如實に物語つたものである。

▲……如もこれを外國に出せば、正百圓にしか通用しないものを、國民がなれ合ひで、百十圓とか、百廿圓とかに、買つて喜んでゐたやうなものであるが、是が非でも外國へ出さなければならない時がくれば、國民同志になれ合ひ呼値が打ち壞されてしまはなければ仕方がない。

▲……本當は百圓の價値しかないものを、人爲的に物價が騰貴せしめて百廿圓よんでよろこんでゐることは、明かに一種の自己滿足にして、企業の堅實な基礎とできないことはいふまでもないが、更にこれを對外關係の上から見ることもうした結果を招くことになるか

▲……巨額の棉花を外國から買つて綿絲布を外國に賣り、更に巨額の生糸を外國に賣る日本は高呼値のそれ等商品を呼値のまゝ外國へ賣ゐらうとしても、外國では其のまゝでは買つてくれない。日本はその呼値に勘分の割引をして賣らなければならないことになる。

▲……日本内地の住友銀行へ預金ご御申込みになることも出來るやうになりますから御便利とご見御安心でございます。殊に内地觀光のため御歸朝のお方は特に便利なる行横濱支店の特別定期預金（全國の住友銀行本支店といつでも自由に御引出が出來ます）を船内でお申込みになれば御上陸後手數もはぶけ最も御便利であります

斯樣に船の中に銀行の出張所を設けましたのは大西洋は既に英國のミッドランド銀行、元米國のファーマースロー

シアンドラストコムパニーなどの世界的屈指の大銀行によつて實行せられ旅客に非常な便利をあたへてゐるのであります。太平洋におきましては實に住友銀行をもつて嚆矢とするものであります。現代の最も進歩的な銀行施設の一と申さねばなりません。何卒多數の御方々が有効に御利用くださらんことを希ひいたします」云々

是々非々

矢田さん、とう〜瑞西公使に榮轉した。瑞西は國際聯盟の事務局存在地の重要所、待てば海路の日和、今頃は獨り悅に入つてることだらう。

金門學園評議員更に十五名增加して都合卅五名となる。全く日本人會のやうに、一層のこと維持會員以下部を評議員にすればよい。

▲……

僅田飛行事件で殺員の責任問題が高唱されて折柄、全く皮肉な增員だ。時代錯誤も甚だしいとよいもの。

▲……

此の頃、學生の實格を嚴しくなりならロクロ學校にも分かれ勞働したり學國の教師なさしてゐるものがあるが、聞くノンナこさをするから移民局で

伊太利銀行　頭取の引退

イタリー銀行頭取を辭したゼーム、エイ、パシガリ氏のために、一昨夜パルヒラク、ユニオン、クラブで盛大な晩餐會が開かれ、市長ルロフ氏や各方面の有力家が出席したが、同銀行の重役等は五萬弗のチェックを時計一個と記念に贈つて氏の業績にむくゆる所があつた。

下腹部にある動脈に簡單な手術を施して人間が若返るとシ博士の說

（シカゴ十八日）いかにして動脈月のプログラムを次のごとく決定す。

▲十八日（金）籠球練習

▲二十日（日）「ハイ、ワイ、クラリオン」寄稿締切

▲廿五日（金）編輯會

▲二十七日（日）編輯再生第一號發行

●瀧川氏居、總領事館實補の同氏は左に新居をもつた一六二〇　ラーキン街電話グレーストン三八三六

●新刊雜誌　キング、富士、講談クラブの十一月號着寄し大成當五軍堂で一昨日より賣出してゐると

▲萬國聖書研究團　二千百六十八番プッシュ街

ラデオ放送日曜夜九時十五分より十時十五分までKFWM

聯合新講會水曜午後七時半

マーケット街　二二六九

金曜午後七時四十五分

マーケット街　二二六九

一般歡迎　會費無用

▲天理教會　ポスト街一五八五

▲……

若返らべきかといふことが目下醫界の中心興味である當市外科學校に開會中の衛生學會においてもレスピナッセ博士は若返り法に關する手術について新發表をなして專門家連の注意をひいてゐる。これは從來の研究のごとく老化に腺を若き元あるものと取替へるとか、何か新しい精力を注入するといふことではなく、單に下腹部にある動脈に向かつて

或る手術

を施すと肝臟や甲腺線が新なる活動を開始し疑へたる精力を恢復するといふのである。レスピナッセ博士は去る一九二二年此種の手術を有名なシカゴ人マコミック氏に施したが今日に至つて非常な好成績を示してゐるその後此法多くの患者に施して見たが、今既に試驗期を過ぎてゐると博士はいつてゐる

ハイワイ　クラブ

新入會員

基南ハイ、ワイ、クラブは去る十一日嚴肅なる入會式を擧行左記の諸君を新入會員とした

青柳良雄　丹野周男　世良鑑助　安竹

學童の預金

總額五千萬弗

（紐育十八日）米國内で四百二十二萬二千九百三十五名の學童が郵學年度に學校貯蓄銀行に預金したが、その額は二千八百六十七萬二千弗餘に、ほつたなほ今日までの學校貯蓄銀行總預額は五千萬弗以上のほうといふ。

日曜の諸教會

▲リヤーム教會　午前十時

日曜學校　午前十時　同十一時

禮拜說教

▲美以教會　日曜學校午前十時

禮拜說教　午前十一時十五分

〔此等にまさるの愛を有つか〕

津田牧師

エポースリーグ　午後七時半

夕拜說教　同八時

〔働く神〕　眞野萬磯師

▲……

▲……

▲……

教授法の研究を眞劍に討議す

午後は州立瘋癲病院視察　學園協會總會一二日目

（スタクトン支社特信）北加州の教育者の試驗として學園協會總會第二日は、十八日午前九時半から桜市學園にて開會され、出席者は前日發表の上に三隅氏（ロスアルトス）も參加し、盛會であった

此日前日の議事をうけて

河下學園の寺見氏教育方針に關する座談會の後、次いで門學園の鈴木氏より「米國の道德的教育」に關して長講一席があり、次いで懇談に移り、前日の研究教授に對する批評に移り、可なり忌憚なき意見の陳述があった「母の會」に關する各地の現狀の報告があって、十二時散會

午後の總會

視察もあり議論もあり

十八日午後の總會は一時半集合、州立瘋癲病院を視察し、國内に於ける一行のため特にアレンジした。

一、各日本語學園に教授細目を作製すること（八市學園提出）を上程した。寺川氏より希望的說明があって、一同その趣旨を諒とす、次いで

二、動機十ケ年教師を表彰する件（アイルトン學園提出）を上程し、河村氏より說明あり、宮川氏（コンコード）より反對甲論乙駁議論の盡きる所なく、小笠原マウンテビューの提議で此の案を裁決せずして明年まで留保することに決定した

以上で議事を打切り一同大白樓に於ける北加學園協會主催の晩餐會に臨み食後は一同朝日座における一行のため特にアレンジした。

商人妻子呼寄の試訴問題講演會

愈々明廿一日月曜夜　金門ホールに於いて

辯士エリオット、ミチエル兩辯護士

在米商人妻子呼寄の試訴として目下桑港合衆總領事館に於ける審理中の熊野御堂氏夫人事件、その他米籍および移民法の解釋について專門家の講演會は、桑日本會講演部主催で下に愈々明一二日の月曜午後七時から金門ホールにおいて開催されるが、その順序は、秀島講演部長司會し、川島桑日新聞社長から概略、右試訴の經緯を說明し次に移民辯護士ミチエル氏が熊野御堂夫人上陳報告をなまの經過を說き、つゞいて本件擔當辯護士オリオット氏が法理上より見た意見を縦横に辯をもつて解說論述するはずで終はつて川島書記長は通譯として右二氏所說の要旨を譯述し、最後にミチエル氏が一般移民に對する項目毎に質疑の心得を說明し、次いで質疑應答に移る。

移民辯護士

辯士エリオット、ミチエル兩辯護士

本件は當地の最初の試訴判例として、法理上より見た意見を縦横に辯をもつて解說論述するはずで終はつて川島書記長は通譯として右二氏所說の要旨を譯述し、最後にミチエル氏が一般移民に對する項目毎に質疑の心得を說明し、次いで質疑應答に移る。

敵を壓し加大勝つ

ペ大との大蹴球戰

加州大學とペンシルバニア大學ウオナヴグローブ高山大石牧師太田牧師フロリン大石牧師オクパーク水野牧師ルーミス同サクラメント同高山大石同太田水野同津田牧師

中途着陸のソビエート號

ポ市附近陸軍飛行場に十九日朝出發か

（桑州パンクーヴアー十八日）朝九時半シアトルを出發したソビエート號はオレゴン州ポートランドの南十八マイルの地點まで南下したが發動機に故障が生じ、機の到着を待つたが遂に來かつた他方パンクーバー飛行場において露國系市民約三名が出發しようと、十八日オラクランドにまで來て、故障の修繕に取掛つたが、なほ數日間を要する模樣なので、桑港日會では、明日一日から總領事館に受けつけを開始するので、桑港日會では本月中に準備萬端を整へ、早目に事務をはじめ開始に進みたき方針につき始めてのの人は延期希望によつては一般桑港市民の賛同に應ずるはずで、問題は決し一般の同胞にかゝる重大事件なので、當夜は多數の桑港出席のもとに盛想されてゐる。

桑日會の徴兵延期事務近く開始

來年度の徴兵延期願は來る十月一日から總領事館に受けつけを開始するので、桑港日會では本月中に準備萬端を整へ、早目に事務をはじめ開始に進みたき方針につき始めてのの人は延期願〇で大を リード、第三コーターに ペ大がやゝ當りを見せ七點を獲得したが、最後のコーターも加大依然敵を壓し、結局十二對七のスコアーで加大の勝となつた

新任駐日墨國公使

春洋丸で渡日　本日來桑の筈

新任駐日墨國公使アロンゾ・ロメロ氏は廿三日發春洋丸で家族同伴日本に赴任の途中日來桑するはずであるが、セントフランシスホテルに投宿の早大出身の國際私法のオーソリチ帝大および早大教授田三郎博士および大山身者古屋國際學園長は、所代表最代勝氏を迎へて當惑の所で熱狂的な歡迎をうけます美しい日本を見、美しい日本人と語るを樂しみにしてゐます。

救世軍米國總司令官

ブース孃出發

十九日沙港發タフト號で

（沙港十六日通信）訪問の途次救世軍米國總司令官エヴァンゼリン・ブース孃は十六日朝七時三十分ミルオーキー列車にて沙港に着し、停車場には小林少佐夫妻、吉田大尉夫妻救世軍各地の士官が出迎へ、小林少佐夫人は菊花の花束を呈し記念の撮影をなし、他の隨行員とともにペンヴァン、フランクリン、ホテルに入つた訪問の感想を聽く「日本を亡き老父（救世軍創立者）が日本に來を訪問して聞いた時は非常に感激し、美しい國と聞いたことがあります

日本の人々が非常歡迎

滞在日數も僅二三日し

訪問はまつたく夢の實現とありがたく感じます。

亡き老父の勸めにて

日本に行く

五十年記念傳道

廿二日より櫻府平野に同胞の魂を目あてに

沿岸とサンノゼ平野には藤井、坂口、丹羽、秦、有馬、津田の諸牧師聖職に出張して二十日迄おこなはれるが、二十二日よりサクラメント平原に同胞の魂を目あてに聖戰開始されることとなれりと

太田牧師　大石牧師　高山大石牧師　水野牧師　高山大石　太田、水野　津田牧師

五年振りで環さん＝當市で獨唱會

布哇に行つて若返り面白い歌と美しい聲を

廿四日聖フランシスで

布哇より招待され歌唱の

若返つた歌姫の聲

桑港は五年振り

ホフマン教授講演

ホフマン教授の講演

國際私法學者

山田博士

本日來桑する

佛教婦人會例會

下船の際

熊谷選手

出世の階段

廿三日ボクシング試合

高橋選手もゆく

ポスト街の街燈增設

六十餘名署名願書昨日提出

軍縮會議の全權決定

總領事館發表

日會から齋藤氏見舞ひ

鈴木博士來桑

奥村牧師を歡迎會

布哇クラブが

弗預金利率引上ゲ

サクラメント市加州住友銀行

送別會

塚田知二郎氏同夫人

同糸子嬢

主催　桑港佛教會　佛教婦人會　桑港學園　母の會

日曜學校

日本行御歳暮品

大賣出し

婦人一名

日米新聞社

謹告

淺間丸の船客滿員に付愈々本日締切に相成候

各位　桑港　加州ホテル

英語研究社編

ベー英和辭典

定價六十仙

新英和大辭典

携帶英和辭典

新英和大辭典

日本ホテル

日本行小包　船客手荷物　取扱　富士運送會社

高尾鶴松

金門貸自動車

壁紙ペンタ

城戸法律事務所

常盤園

相馬茶店

三上代理事務所

山中床

高等

祝餅並に赤飯　春月堂

鍼灸あんま術

小田運送店

古買

三澤藥局

特賣販價

機療治氣電用庭家

式色一野熱蒸射放

清田石作

三つ輪

ひさご

日本行小包　船客手荷物　取扱　富士運送會社

米國

藤本商會

肛門藥商會

日本ホテル

株式會社　よろづ商店

1300 4TH ST. SACRAMENTO, CALIF.

需要供給に伴はず 市場閑散

ペッパー良く スクワシ弱い

▲概況　土曜日にて相當の商況期待せしものの市場は案外閑散であつた。然しながら市價は一般に大差なかつた。スクワシは殆ど需要なくすこしも動かず一時笑顔を見せし棉も今は殘荷のみにて更に活氣なし。

▲菊菊はドシ〜入荷を見るのみにてスローなる事萬だし。シードレス種は五十仙から七十五仙、モスク種は六十仙から七十五仙、マラガ種は五十仙から七十五仙、トーケイ種は一弗から一弗廿五仙、カーネーション種は五十仙から七十五仙位にして需要非常に少かつた

▲ペッパー　寄息吐息の市場でペッパーのみ氣勢よく一寸皮肉であつた。ストロベリーは品質によりて大差ありしがドロワー五十仙から八十五仙、クレート一内外　ラスベリーはクレート一弗から一弗三十仙　上物は一弗五十仙から一弗七十五仙であつた。

▲メロン　ハネデューは八十五仙から一弗十仙、パーシャンメロンは八十五仙から一弗廿五仙位であつた。

野菜類

▲トメート　トメートの入荷今朝すくなかりしため市況やや良好にて五十仙から七十五仙であつたがストン種上物大ラグは一弗から一弗廿五仙であつた

▲キューカンバー　キューカンバーは品質に從ひ市價に大差みあり三十五仙から五十仙であつた。

▲ペッパー　ペッパーは比較的需要時々同じふして生れたものでこにしてクレート二弗から二弗廿五仙であつた。

桑港市場

十月十九日

果物相場　標準卸値

單位仙

アプル	箱	四フヤ
グラベンステーン		二二五　二五
ペルフラワー		二五　二五
バナナ　布哇　封度		二〇
グレプフルツ南加　箱		七〇〇　八〇〇
レモン飛切　箱		一〇〇　一〇〇
オレンヂ　バレンシヤ		七〇〇　一〇〇
梅　クレート		一〇〇　三二五
ドロワー		八〇　一〇〇
ラスベリクレート		一〇〇　一二五
ピーチ　エルバタス		一〇〇　一二〇
ペヤー　パトレット		一〇〇　一二〇
プラム		一〇〇　一二五
フイグ　ミシヨン　單		六〇　一二五
葡萄　タムソン　ラグ		七〇　一二五
マスク		七〇　一二五
マラガ		七〇　一二五
トオケイ		一二五　一二五
西瓜　封度		一　一二
カボチヤ	公	一〇
キヤンタロップ　標準		一〇　一二〇
ハネデユー	公	一〇　一二〇

桑港市況

十月十九日

野菜相場

アスパラガス		一〇〇　一二五
レタス　地方物	箱	一二五
アヌオン	袋	一二五
赤	袋	一二五　一二五
黄		一二五　一二五
ビート　牛月物		一〇　一二五
ポテト		
スタクトン	袋	一二五　一二〇
袋入野菜		
ビーツ		一〇　一二五
キヤロット		一〇　一二五
ルーバーブ		一〇　一二五
スクワシ		一二五
甘ポテト		一二五
續		
ラグ	百斤	一二五　一二五
トメート		
ローカル	ラグ	一〇〇　一二五
セローリー	クレート	一〇〇　一二五
オレゴン		一〇〇　一二五
地方	ラグ	一〇〇　一二五
キウリ	ボンチ物	一〇〇　一二五
ビーツ	打	一〇〇　一二五
キヤロット	打	一〇〇　一二五
トアニップ	打	一〇〇　一二五
ラデシュ	打	一〇〇　一二五
青葱		一〇〇　一二五
ピンス　地方	斤	七　一四
ライヤ	斤	七　八
イタリアン	斤	五　六
コーン　サツク		一〇〇　一二五
カリフラワー	打	一二五　一二五
キヤベーヂ	百斤	一二五　一二五
ペパー　羅府	ラグ	一〇〇　一二五
ナス	羅府	一〇〇　一二五
スピニチ	クレート	一〇〇　一二五

鶏肉卸商へ

ライブ桑港渡

レグホン三斤四ノ一以下		二二仙
ルースター		二二仙
鶏卵相場卸賣		
エキストラ	大	五仙半
ミデアム		四仙半

株式

新東の跡を追ふて 諸株一せい高

戻賣人氣可なり優勢

東京廿九日發　昨後雪は賣り方の踏みふくそうで主力株群は輪解禁恐怖心が低迷し一進一退を通じて非常な好況であつたが、朝は強に氣勢となつて、政局安定金解禁時期緩和の期待がまだ繼續するには材料が十分でないと解釋され、これは解釋上月並の範圍を出でず大體まだ相場を小さく見てゐるので戻り賣物がなかなか有力に注がれる。然し市場取り組係は長期月を遂ふことに改善され段々高値の食ひ合ひが落てゆく昨日落高限は七月の現内閣成立、殆ど同じふして生れたものでこの時々同じ月に取組んだ玉が一緒まるれば戻りはいよ〜安値の食ひ合ひとなるのだから投げ物は今後餘程少くなる譯である。かた〜もつて賣方はうかつに賣込めないので長期の諸株は大分足取りがよくなり一せい高の好歩調を見せた。今後新東の歩調と無關係に伸びゆく傾向を現はすものと思はれる。いま下値の懸念は大に緩和されたやうに思はれる。

日本の株界には何といつても金解禁の跡を追ふて非常な好況であつたが、今朝は強に氣勢となつて、昨日の反動で賣物が出て来たが、これは解禁後金が海外に流出しらしいといふのでその原因に乘じ四、解禁準備に繁編節約が行はれ不景氣が加重するの結果が国民に影響を及ぼし、輸入品の壓迫で工業會社の利益が十分でないと解釋され、これは解禁後金が海外に流出して利益が高くなる。

米商續て昂騰

米商の成績はいつも下期が好いが今年は天災期を常とするが今年は天災期を無事に濟ましたため餘りよいこともあるまいと見られてゐたが實際は八月終りまでにおいて昨年期の機の成績をあげその後九月に入りては毎日台風が現れ相場に波瀾を生じ出来高も増してゐるから配はもはや間違ひなく三分増しの一割は必かぬ。

不壞の白珠

菊池寛作

承諾一

今更、成田の疑つてゐることを肯定して、成田にあやまつてもらつたとて、何になるだらう。成田に自分の心の傷を思つた。成田は、それを撫さすつて、それを撫さすつて、成田の口から、妹に知れ、妹にやるわけはないやありません

もつたところで、新しい痛みこそ加はれ、それがどうにもなるわけはなかつた。むしろ、そんな傷を相手に知られることは、恥だつた。それが、やがては成なつて、すまないなどおつしやるまいたはられたりすると、そんな恥にはならないと思つた。

「それは、僕には分りません」成田は、あやまるやうにいつた。

「それぢや、何もあなたが今、お考へになりますの。」

「まあ、それぢや、あなたは、わたくしがあの時、あなたに何をお話しやうと、思つてゐたと仰しやるの。」

「ねゝ！！それは、さうですけれども。」

成田は、としねゝあくまで理智的な態度に、射すくめられ、やうに、オドオドしていつた。

「何もございませんわ。あなたが御心配になるやうなことは！！」

としねは、すこし氣持ち折れて、やさしくいつた。

※　※

株式

實物中直表

（九月廿九日調單位十錢）

▲銀行株

日銀	二百圓	五七三〇
正金	百圓	一九六八
朝鮮	百圓	四九八二
勧銀	五〇	五八六
興業	百圓	四二八
北海銀	五〇	五三三
東農工	二〇	二七五
第一銀	五〇	八七一
安田銀	五〇	五一三
殖産銀	五〇	九八五
三井	五〇	五三七
三菱	二五〇	

▲保險株

東海上	五〇〇	二一六〇
帝國生	五〇〇	三〇〇
東洋火	二五	六〇〇
東京火	二五	四一二
日本火	二〇〇	五八五
横濱火	二五	二一二
共同火	二五	二九〇

▲電鐵株

蒲鐵	五〇〇	六八二
東武鐵	五〇〇	九〇七
京濱鐵	五〇〇	五三〇
王川鐵	五〇〇	六七六
京王鐵	五〇〇	六七二
王子鐵	五〇〇	六五二
京成鐵	五〇	一七七
小田急	五〇	一七七
地下鐵	一五〇	二一八

▲電力瓦斯株

鬼怒川	五〇	四九五
九州水	五〇	六四二
北海水	五〇	二三三
北海電	四五	二四〇
吾妻川	五〇	三六三
東京發	五〇	三七五
大同電	五〇	三九八
東邦電	五〇	四九八
東瓦斯	五〇	四七五
北瓦斯	五〇	六一二
東京電	五〇	

▲船舶株

郵船	五〇	六一八
商船	五〇	三九三
石川島	五〇	一七六
横濱製	五〇	二九二
浦賀	五〇	三三三

▲織業株

北海製	五〇〇	四七八
三菱織	五〇〇	六四〇
東洋織	五〇〇	二〇三
北樺油	四〇	五〇〇
新日石	二〇〇	一八五
東京網	五〇〇	四一二

▲紡績株

鐘紡	五〇〇	二四八八
富士紡	五〇〇	六〇〇二
日清紡	五〇〇	九九六
岡新株	二〇〇	四四五
東洋紡	五〇〇	一八五
帝國麻	五〇〇	二五〇
片倉	二五〇	三三七
東モス	五〇〇	七〇
京モス	五〇〇	五四
洋モス	五〇〇	一二二
合同毛	五〇〇	

▲砂糖株

日本糖	五〇〇	六一八
鹽水糖	五〇〇	一〇七
臺灣糖	五〇〇	七二四
同新株	一二五	二四四
新高糖	五〇〇	二九二
明治糖	二五〇	三九六
同新株	二〇〇	三五五
帝國糖	五〇〇	
臺南糖	五〇〇	

▲諸株式

日本夢	五〇〇	一〇九五
富士紙	五〇〇	六九〇
王子紙	五〇〇	一〇八〇
新株	二五〇	五七三
樺太工	五〇〇	四三二
日清粉	五〇〇	九二二五
人造肥	五〇〇	三九五
浅野セ	五〇〇	六三八
勢城セ	五〇〇	三九八
自動車	五〇〇	二一六
三越	五〇〇	二六〇
新松屋	二五〇	五六〇
白木屋	五〇〇	三四〇
同新株	四〇〇	二三五
日活	五〇〇	四八〇
日本氷	五〇〇	四九五
新森氷	四五〇	七三五
共同	五〇〇	二六八
日魯	五〇〇	四九八
空	一二五	一七三
無電	一七五	三一六

▲取引所信託株

東株	五〇〇	一二六五
濱株	二五〇	三五八
大株	五〇〇	七八八
代行株	一二五	三四三
安田信	一二五	一五〇
住友信	一二五	二六〇
千代田	一二五	八〇

御投資は今!!

株式投資は利殖方法の中で最も優秀なものであります。そして只今のやうな底値時代の御投資には好利廻りの外に株價大騰貴の期待が附髄いたします。

何株がよいか？
御相談は當店へ

株式
公債

桑港本店
府羅出張所

博信社

511-519 Pacific Bldg., Market and 4th Sts., San Francisco, Calif. (Phone Douglas 3294-3295)
117½ Weller St., Los Angeles, Calif., Phone Mutual 5526

神戸港に於ける稅關の取扱に就て

御上陸は經濟で便利な神戸港へ

御歸朝者は携帯品に御注意

昭和四年九月

神戸外航旅館組合

今泉旅館　岩國屋旅館　戎屋旅館
自由旅館　高谷旅館　由旅館

資本金一億圓 株式會社 三井銀行

海外特別當座預金　利率　年四分五厘

本預金は在外者各位の賞め特に設けたる御便利なる預金にして左記の如き特長あり登録有之候

（一）利息は定期預金公定利率と同じ割合にして毎年五月十一月の二回に計算致候

（二）通帳を使用するを以て御出し入れ共自由にして而も五年間書替の必要無之候

（三）本預入は銀行替又は郵便爲替にて御送附被下度候

（四）預金取扱は横濱、神戸、廣島、下關、門司、福岡、長崎の各支店に敢り申候

▲本支店出張所今在場

東京　本店　日本橋丸之内（東京市）
名古屋　京都　廣島　門司
小樽　神戸　下關　福岡　大阪
横濱　大阪堂島　大阪川口　若松（福岡縣）
大阪西　上海　紐育　孟買　倫敦　漢水（瓜哇）
長崎　紐育支店　61 Broadway, New York City N. Y.

貧富の分岐點

◎貯蓄といふことは大切な事に違ひありませんが金持になるには貯蓄の上に利殖といふ事を考へねばなりません

例令へは金千圓の元金が四分の利子と八分の利子とでは次のやうな大差を來します

利率	十年後	二十年後	五十年後
四分	一、四八〇、二四	二、一九一、一二	七、一〇六、六八
八分	二、一五八、九二	四、六六〇、九五	四六、九〇一、六一

即ち千圓の金が四分の利率では五十年後に七千百餘圓。八分の利率では四萬六千九百餘圓といふ驚くべき相違を來します

それでは八分にも一割にも廻る利殖の方法は何かといひますと、確實で好利廻りの株式投資に限ります。確實な株式を安い時に買入れ高くなつてから賣り又安くなつた時を見て買ふといふ風にしたら、その利廻は一割やそこらではありません若し買つた時より安くなつたら、その間は、八分なら八分の利廻を得て持つて居れば確實な株式なら一寸も心配に及びません。株式といへば投機的なもの危險なものと考へるは間違ひです。始めから投機を避け地味な利殖を目的としたら、これほど確實有利な利殖法はありません

當社は株式賣買の御便宜を計るは勿論配當金の取立、拂込、增資等の場合の手續、折々の相場の御通知、其他一切のサービスを親切迅速を旨として無料でいたします

利殖といふ事を夢にもお忘れなく、從つて當社をも一時もた忘れなく、致富成功の途に進まれん事を希ひます

株式會社 藤本ビルブローカー銀行姉妹會社

藤本證券株式會社 桑港支店

桑港 モンゴメリー街二三五　電話 ガーフイールド二七二八—二七二九

同羅府出張所
羅府市 東四街三五三　電話 エンゼルス八五三九

同沙市代理店
沙港メイナード街三一六　（英商）電話 メーン三八五七

南加版

支社電話 MUtual 八四一五

チエスト募金の爲め 歸米を急ぐ塚尾女史

ボイルハイトは獨立區

今年度日本人部コミュニチチエスト募金運動は愈々来月十旬より開始されたが、同胞部は女子青年會事務所を事務所として清水毛事、塚尾幹雄、清水毛事、植本南氏等が中心となつて活動する事に決し、塚尾女史の歸米期を繰り上げ、ボイルハイトを獨立區に分け、ボイルハイトの基礎を固めたしたので塚尾女史の歸米期を繰り上げ、ボイルハイトを獨立區に分け、ボイルハイトの基礎を固めたしたので塚尾女史の歸米期を繰り上げ、その區域東一街とから基して南北二區に分け、一區、鍋人、清水、植本南氏等が推薦した役員六十名に對し、一區、鍋人、清水、植本南氏等が推薦した役員六十名に對し、一日丸と婦羅すち旨報じて來たと

厄介な徴集延期願ひ 來月一日から受附

領事館より一件書類配布

在米同胞にとつて毎年厄介至極な徴集延期願ひは明年一月卅一日まで領事館に在米申告書を出日まで領事館に在米申告書を出者は往年の書式による徴集延期願ひと年留置期間を添附出願しなければならぬ第二回目から十一月一日よりその受附を開始し、出願者は明年度初めての適齢

フレスノ【支社電話二一三八一八 十八日】

學園協會で起した 中加教學奬勵會

第二世日系市民に多大の刺戟あらん

布日常議員會

長谷川理事長の通告

十日(日曜)午後二時より開催されるフレスノ日系定期常議員会につき長谷川理事長は左の通告を常議員諸氏に發送して漏れなき出席を希望してゐる

〈前略〉本會の常議員に關する重要なる件あり之は非常議員各位とも御協議申し本年度我等の附託されし責務を全致したく候間御多用中誠に恐縮乍ら萬障御繰合せの上御出席被下様奉願上候敬具

理事長 長谷川角藏

一、表彰生
ハイスクール以上の優等卒業生を表彰する事

一、特別給費生
品行方正、學力優秀なる大學生に本人の希望により相當の奬勵金を與ふ。但し給與金高は月十弗以内とし表彰會に於て決定す

一、貸與生
大學生にして學費の必要ある場合には審査會の決議により無利息にて之れを貸與す。但し十年以内に返還する事

一、模範青年男女表彰
被表彰者は審査會の推薦による。又その表彰の方法は審査會にて決議す

一、審査會の組織
審査會は中加學園協會理事および評議員を以て組織す

右のうち模範青年男女は必ずしも學生を意味するものでなからべく選ばるるが第二世子女奬勵の上に刺戟を與ふること多大なるべし

バツシヨン劇

十二月七、八兩日

報じたドイツのバツシヨン劇團は、いよ〳〵十二月七、八兩日フレスノに開催せらるゝことに確定したが入場料は一弗五十、二弗

●葡萄市價を放送
ピー新聞社は來る月曜日より毎日零時十分より東部および太平洋沿岸の葡萄マーケットの狀況を無電放送する由

●長谷川理事長出發
フレスノ日會長谷川理事長は明日開催せらるゝ在米日本人會の參事會出席のため本夕汽車で出發した

●奥村牧師の晩餐會
既報のごとく來る日曜日に府下の同牧師は本年度の最終の晩餐會を開き、同牧師は本年度の最終の晩餐會を開き、同牧師は本年度の最終の晩餐會を開き、

サクラメント【十九日】

支社 メーン 三〇六六 電話

住友銀行の利率引上げ

今回弗貨定期預金

加州住友銀行では今回弗貨定期預金の利率を従来よりも引上げ三月の定期預金には年四分、六ヶ月以上の定期預金には年五分の利息をふすることになつたと。

湯淺永年氏獨唱會

聽衆多數盛會だつた

新進のテナー湯淺永年氏の獨唱會は市内美以教會婦人會主催のもとに昨十日夜八時よりアメリカン センター教會堂に於て開かれたが聽衆堂に満ちた盛會であつた。

神原夫人の挨拶ありてまづ湯淺氏の獨唱はプログラム順によつて進行したが伴奏はアイビス嬢でピアノの音と相まつてそのすばらしい節廻しは精練されて一段と聴衆の喝采を博したがその前後湯淺氏は獨唱前田嬢のピアノ獨奏、エボラクレーンス君のハーモニカ獨奏、ブロウニング君のバイオリン、塚原君の二部合唱（神原、熊谷兩嬢）、衛木嬢のピアノ

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

10769. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., SUNDAY, OCTOBER, 20, 1929.
Copyright 1928 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00
Per Year $11.00

S. F. YOUNGER SET TO GIVE 5 ART PLAYS

Kinmon Gakuen Scene Of Productions on Oct. 28, 29

Five Japanese art plays, representing diverse trends in the stage of modern Japan, will be staged by a group of local students of the theater on Monday and Tuesday evenings, Oct. 28 and 29, at the local Kinmon Gakuen auditorium.

They will also present one modern French play, "Monsieur Batin," by Georges Courterine, a member of the Academic Francaise. This play will be presented on the first night, with U. Kitano taking the title role.

Two other distinguished Japanese vehicles will complete the programs for Oct. 28. "Doshi-no-Hitobito," a powerful play whose scene is laid during the tumultous period of the Japanese Restoration in the middle of the last century, will be admirably presented by an adequate cast headed by Harold Takemoto, Takeo Ozawa, and Hoko Ikeda. The play is by Yuzo Yamamoto. The English name for the play is "Comrades."

"Mudan Haishaku" (Borrowed Without Consent), a delightful comedy by Soganoya, will complete the first night program. Miss Mizuye Tatsukawa as the wife, Seiju Uyama as the husband, and Ren Adachi as the burglar head the cast.

SECOND NIGHT

On the second night the program opens with "Sutego" (Abandoned Child), a striking tragedy by the late Kaoru Osani, whose work with the Tsukiji Little Theater of Tokyo before his death stands out as a dramatic contribution of importance.

K. Tojo as Matsukichi, Harold Takemoto as the husband, Miss Mizuye Tatsukawa as the wife, and Tamaki Matsuno as the police are taking the leading roles.

"Irefuda," or "The Ballot," by Kan Kikuchi, Japan's foremost novelist and playwright, is expected to prove among the most effective of the whole repertoire. The theme concerns the code of loyalty and chivalry in the age when Japanese knighthood was in flower.

The leading players include: Tamaki Matsuno as Kunisada Chuji, Harold Takemoto as Kurosuke, Hoko Ikeda as Yasuke, K. Tojo as Asataro, and Takeo Ozawa as Kizo.

"SABAKU DE"

The last play is "Sabakude," or "In the Desert," by Tomoyoshi Murayama. It presents a dramatic episode of the crew of the Raider Emden, which stranded off Mavia and became surrounded by hostile bedouins. Mutiny, mob scenes, machine-gun battle, and grim tragedies of war are portrayed with great skill by the players.

A novel feature in this play will be the stage setting, which is done in the futuristic style by Isamu Inouye, local writer and journalist, who is directing the whole two-nights' porduction with the exception of "Borrowed Without Consent," which is supervised by Taku Nakagawa.

"In the Desert" will be staged by the following chief players: Ren Adachi as Capt. Mucke and K. Yanagi as Lieutenant Giesling. Nine other sailors will participate.

Final Play-Off for Northern State Net Tournament Sunday

The final play-off for the junior singles championship will mark the second week of Northern California Japanese series, which will be resumed Sunday from 8 a. m. at the Golden Gate Park courts.

The day will round up into the finals and produce the title holders for both the junior singels and the senior doubles games.

Having won the cup twice, Shuichi Miho is given an edge over his opponents in his contest for the permanent possession of the U. Kojima trophy and the retention of the junior title.

Asakura-Shimizu combination of the Daiichi Tennis Club is regarded a sure winner in the doubles tourney despite some oppositions expected from the Shimura brothers of the San Francisco Tennis Association, a team that will undoubtedly meet the favorites in the finals.

Asakura, Fred Shimizu, Kitsuda, and Willie Shimizu are the favored contenders for the David Starr Jordan Peace trophy donated by S. Yamate. The tournament is being sponsored by the San Francisco Japanese Tennis Association.

The schedule for Sunday:

8 a. m.—H. Nishimoto vs. Baba; K. Nishimoto vs. L. Suenaga.
9. a. m.—S. Miho vs. Ota; Yamazaki vs. Tanabe
10 a. m.—W. Shimizu vs. Kasugai; Junior Semi Finals
11 a. m.—Junior semi finals
12 —R. Asakura vs. Y. iKtsuda
1. p. m.—F. Shimura vs. Winner; Shimura vs. Kasugai
2 p. m.—Junior finals
3 p. m. Senior singles final
4:30 p. m.—Senior doubles finals

Misses Mary Hiroshima and Michiyo Teramoto Win Camp Fire Girls Debate On Subject of Chain Store System

Convincing the judges and a small but select audience, that the expansion of the chain store system is detrimental to the best interest of the American people, Misses Mary Hiroshima and Michiyo Teramoto were declared winners in a Frienhadu Camp Fire Girls debate Friday afternoon.

The views were well presented by both sides. Misses Mary Yamaguchi and Kaoru Kawaguchi, promising young speakers upheld the negative.

Miss Michiyo Teramoto, a sophomore student at Girls High School, was chosen best speaker of the day by the board of judges consisting of J. Tsukamoto, Tadashi Fujimoto, and Miss Sakae Nakamoto.

The meeting was presided over by Miss Haru Nakahara, one of the officers of the Frienhadu Camp Fire Girls. The affair took place at the Boy Scout headquarters on Sutter street.

HOLLIDGE TO TALK TO E. L.

Meeting Tonight Will Start at 7:45 p. m. At M. E. Church

Harry H. Hollidge, insurance man and noted Epworth League worker of Oakland, will be heard tonight (Sunday) at the Senior Epworth League meeting of the local Japanese M. E. Church from 7:45 p. m.

With wide experience in organizing and conducting the leagues, Mr. Hollidge is expected to prove an interesting and beneficial speaker.

The public is cordially invited.

HIGH SCHOOL LEAGUE

The High School League of the Methodist Church will hold its regular business meeting from 11:30 a. m.

Showa Gridders to Hold 3rd Practice At Funston Park

With a game scheduled for the near future, the Showa Shoguns will go into their third practices in the fundamentals of football Sunday afternoon at Funston Park. Enough games are arranged to give every player a good chance to do his stunt during the season. Young players are encouraged to come to the practices. Members will meet at the club house, 2142 Bush street at 12:20 p. m.

YWCA Cage Team Will Hold Business Meeting on Monday

Members of the local Y. W. C. A. basketball team will hold a special business meeting at the Community House on Post Street on Monday evening, Oct. 21. The meeting starts at 8 p. m.

Miss Shizu Goto, manager of the team, will preside.

Opposition Growing Against Hamaguchi's Salary Cut Program

Special to The Japanese American News

TOKYO, Oct. 18—Opposition to the Cabinet's salary retrenchment program for governmental employees today threatens to take on a more threateninig aspect among the officials in the departments of education and army.

In order to take some positive steps before actual revolt occurs in these governmental departments, the Cabinet under Premier Hamaguchi expects to convene in a special session some time today.

In the meantime, a faction in the Liberal party are disgruntled over what it considers Finance Minister Inouye's political blunder on the eve of a general election. Hostilities in some quarters have gone so far as to demand his resignation.

Evangeline Booth Is Seattle Guest On Way To Visit Japan Army

SEATTLE, Oct. 17—Evangeline Booth, commander in chief of the Salvation Army in the United States, arrived in Seattle yesterday en route to Japan in connection with army activities there. She will meet with Salvation Army officers tomorrow. The commander will visit her nephew, Henry Booth, at Seahurst, near here, Friday. She sails for Japan Saturday morning.

THE WEATHER

OFFICIAL FORECAST:
SUNDAY—San Francisco Metropolitan Area and Marin County. Fair and mild. Moderate Westerly winds.

Camp Fire Girls To Postpone Cage Tilt, Practice Till Jan.

Basketball practice among the local Camp Fire girls will be postponed indefinitely, and the game scheduled for Saturday night, Oct. 26, has been cancelled.

This announcement was made by Miss Kimi Usami, manager of the team. The girls will start their cage season in January under the coaching of Bee Uyeda.

Social activities will occupy the Camp Fire girls for the coming few months. It is hinted that they have a delightful surprise in store for the young people of the community sometime in the near future.

PACIFIC HOP PLAN FAILS

S. F. Examiner Shows Expose Of Kubota Mismanagement

The San Francisco Examiner in its Saturday's issue contains an article on the mismanagement of the proposed San Francisco-to-Tokyo flight project, launched last year by C. J. Kubota and his associates.

The Japanese American News, which was instrumental in uncovering the irregularities connected with the whole project, was prominently mentioned.

The article follows:

With a roar heard by Japanese throughout California, plans for a San Francisco to Tokyo "good will" flight have crashed.

Influential Japanese of San Francisco and Los Angeles, who subscribed more than $20,000 to further the venture, have launched simultaneous investigations to determine what happened to their money, and why.

This was revealed yesterday by The Japanese American, local language newspaper, which uncovered what its editors describe as the "alleged scandal."

Leaders in the project are C. J. Kubota, licensed Japanese aviator, and his "friend and manager," S. Nagata.

IN DEBT

Kubota, according to plans, was to be chief pilot of the flight, to be made with a crew of four in a specially designed craft.

For more than a year, Japanese throughout the State have been canvassed for subscriptions. More than $20,000 was collected, according to findings of an investigating committee here.

Under questioning by the committee, Kubota declared that $5,000 had been paid to an Oakland aviation concern for work on the project.

But the investigators, who remarked sadly that nothing remains of the $20,000 "except 300 in debts," declare the $5,000 went almost entirely toward organizing the Oakland concern—which, they say, was started for the sole purpose of manufacturing the San Francisco-Tokyo plane.

POORLY MANAGED

The debts, they declare, were contracted with hotels and printers in connection with the "campaign" to raise additional funds.

The local investigation, it was learned, has been temporarily halted in favor of another investigation now being held in Los Angeles.

Regardless of findings, according to a prominent member of the local committee, no criminal charges will be preferred. It is the opinion, he declared, that the money vanished through "mismanagement."

In addition, M. Tsukamoto, laundry owner and president of a Japanese association, who loaned his name to the project as chairman of the campaign committee, has offered to make good all subscriptions.

General Chiang to Leave for Hankow To Fight Rebels

NANKING, Vhina, Oct. 17—President Chiang Kai-shek, it was announced today, will leave for Hankow tomorrow to assume command of the campaign against the Kuominchun, or People's army, which has been fighting the Nationalist government. He will take with him 15,000 of the Nationalist government's best troops.

Alameda Taiikus Will Meet Barron Tires This Sunday

ALAMEDA, Oct. 18—The Alameda fans will see their diamond pets, the Taiiku boys, pitch their mettle against the Barron Tires Sunday, Oct. 20, in the second game of the Spaulding series. The game will be played at the A. T. K. field.

Kanzaki will be at the receiving end, and Manager Towata will start Rokutani on the pitching mound against the American team. Bats will be crossed at 2:30 o'clock.

The A. T. K. won the first clash of the league war against the Ruud Heaters last Sunday by 5 to 4 score.

FOUL PLAY IS SURMISED IN MAN'S DEATH

Harry Omori's Body Found Floating in San Pedro Bay

SAN PEDRO, Oct. 19—Believed to have been murdered while on duty as night watchman, the body of Harry Omori, an employ at the Terminal Is., was found floating near a pier at San Pedro early Wednesday morning.

Omori was missing since Friday of last week, when he disappeared mysteriously. An autopsy of his body showed that he had not swallowed any water and that his body had no marks of a wound.

It was learned here that Omori had gone out on a yacht with several American friends on Friday night of last week. The police are investigating the death, and his friends will be questioned, it was learned.

NIPPON NET CHAMPS WIN

French Invaders Bow To Orientals by 4 to 2 Mark

Special to The Japanese American News

TOKYO, Oct. 19—Snatching four games out of six in the international amateur tennis play staged at the Tokyo Lawn Tennis Club, Japan today finally triumphed over the invading French champions.

In today's doubles match Harada-Aoki combination defeated Landry-Rodel pair, 6-3, 6-3, 3-6, 7-5.

Cochet-Brugnon defeated Shimizu-Fukuda, 6-3, 7-5, 6-1.

In the singles, Gen Makino of Tokyo Commercial College downed Landry, 6-4, 4-6, 8-6.

Following the championship tournament, an exhibition match was staged in which Naoji Harada of Keio University humbled Rodel, 6-2, 8-10, 6-0.

Santa Barbara and Oxnard Region to Hold Conference

SANTA BARBARA, Oct. 19—The Santa Barbara-Oxnard district of the Southern California Young People's Christian Federation will hold its conference on the first Sunday in November in this city.

A number of delegates from Los Angeles and the entire executive council will arrive here to assist in launching the conference program.

All Japanese young people residing in either Santa Barbara or Oxnard are urged to keep the date of Nov. 3 open in order that they may participate in this parley.

FRESNO GRID WILL CLASH

Y. M. L. Eleven Meets Hanford Hi Alumni This Afternoon

Special to The Japanese American News

FRESNO, Oct. 18—With the game against the Showa Shoguns of San Francisco scheduled tentatively for Dec. 1, the Young Men's League of Fresno County will hold another practice game this Sunday with Hanford High School Alumni at the Japanese ball park. The game starts at 2 p. m.

The Japanese lineup follows:

Omata, center; Ben Shimizu, Tom Nakamura, T. Kawai, guards; Domoto, Hirata, J. Shimizu, Hamanaka, tackles; Matsui, Ariye, Saiki, Onaka, Kameoka, ends; Kumano, Abe, Fujisada, Yamasaki, Nakagawa (Capt.), backfields.

No admissions will be charged, and the public is invited to see the sons of Fresno county in one of the most interesting games of the season.

IDEAL JAPANESE WIFE IS DESCRIBED BY STATESMAN

By YAMATO CHUYO

Few husbands have the courage, at least in Japan, to own what they owe to their wives, and he who can do this with a genuine sense of gratitude is, indeed, a happy man in the best sense of the word. Mr. Kenzo Adachi, the present Minister of Home Affairs is such a man.

Mr. Adach said to a representative of the Shufu-no-tomo by whom he was interviewed recently: "You have got me this time. What do you want me to tell you now?. . . Anything I feel thankful about to my wife? That is a demand, to be sure! Well, let us split the matter and arrive at a compromise by my telling you what, I think, a wife should be."

The Home Minister went on to say that she must be a wife that can be trusted. The great Emperor, Meiji laid stress on "conjugal happiness." "I think there can be no real happiness between the husband and wife unless they mutually trust each other completely." Mr. Adachi leaves all his domestic affairs to his wife. "When a man engages in his life's work, he cannot afford to have his mind distracted by household matters, and there may be no way out for him unless there be that mutual trust. You will thus see what an important thing is Trust."

IN HIS YOUTH

It may be recalled that in his younger days, Mr. Adachi was a dare-devil sort of political worker fresh from his native place Kumamoto, and he was mixed up, at least was suspected of being mixed up, with the assassination of Korean Queen Bin in October 1895. Mr. Adachi has been married a few months, and was then living with his young wife in Seoul, Korea, holding the position of editor of an almost moribund newspaper, the Kanjo-shimpo. On the eve of the assassination, that is on the night of the 7th of that month, Mr. Adachi said to his bride: "We are going to do it tonight. I want you to make up your mind that I am gone if I do not come back in the morning." That was a stern word of parting that only a samurai of Japan could speak.

ONLY 19

Mr. Adachi says of them: "My wife was then a younger woman of only 19; but she was calmness itself and bid me go cheerfully. That was expected by me who knew her too well. Nevertheless I was greatly eased in my mind, and felt that she would take care of my aged parents at home, whatever became of me. Was it not satisfactory that I could my way with nothing hanging a shadow of darkness, but placing my full trust in my wife young as she was"

Mr. Adachi could not get home until late the following morning, but found everything in good order, with the wounded attended to. Mrs. Adachi received him as at any other time showing no excitement or anything untoward and hailed him to his meal as usual. He says he then felt tears welling forth in his breast, "tears not to shed at the parting" as an old poet sang.

THROWN IN PRISON

Soon after the Bin Affair, Mr. Adachi and his comrades were called home and on reaching Nagasaki he with the others was put under arrest and thrown into prison. As the writ was served on her husband, Mrs. Adachi showed no trace of trouble, still less tears, but to cheer him with words of encouragement, and furthermore not many hours after his incarceration she was at the prison sending him articles of consolation for him. Mr. Adachi says once more: "My troubled thoughts about my father and mother to whom I caused so much anxiety melted away as I knew then that they would be looked after by her as she knew how."

STERLING QUALITY

After eighty-five days of rigorous preliminary examination, Mr. Adachi was acquitted on the ground of insufficiency of evidence; but he came out of prison only a shadow of his former self, the incarceration of nearly three months with very trying ordeals having completely shattered his health. For the next four years he spent most of his time at sea side to recover his health, and during all that time Mrs. Adachi fought a veritable battle of life at the home in Kumamoto, but never forgetting to serve her parents-in-law as best she could. "As I think back of those days," says Mr. Adachi, "I cannot help wondering how she managed to live, burdened as she was with the care of my parents. Living was cheap those days, it is true; but the regular income of the family was the Shizoku pension that brought in 26.40 yen per semester or only 4 yen 40 sen per month! That was of course, not half enough to support the family and my wife raised silk worms by planting mulberry trees in the spare ground of our homestead, besides growing vegetables for food. She employeed such spare moments as she had in cleaning unhusked rice to please the old people—the unhusked rice was cheaper than the cleaned rice, don't you see; but it was still difficult to make both ends meet, and she sat up till late in the night weaving, which brought her ten sen per ten yards or so of cloth. It was a life of sternest struggle with adversity; but my wife never changed, she remaining ever the same trusty woman devoted to her husband's parents, never betraying her husband's trust. I wish the women of today had the same sterling qualities."

As the next point Mr. Adachi said that men all have a secret—business or otherwise. Then, if it be oversaying the case to say that there can be no real help to a man who takes up his work in earnest besides his wife, it may at least be granted that she is one of the best helpers, and it will be a misfortune if you cannot rely upon her keeping your secret. In short Mr. Adachi regards keeping secrets as an essential requirement for a wife.

(To be continued)

JAPANESE IN CONCERT AT KINMON HALL

Pupils of Miss Power Will Appear This Sunday Night

Japanese pupils of Miss Constance Powers will appear in a concert this evening (Sunday) at the local Kinmon Gakuen social hall on Bush street. The program starts at 8 p. m.

Miss Dorothy Fujita, young songbird, who has been suffering from a slight cold, is expected to sing a light selection, although she may render the favorite pieces announced in the program.

Tsuneo Fukushima, harmonica player, and another American tenor are the guest artists of the evening. Nobuto Iwanaga, a well known violinist, will act as chairman.

Miss Constance Power will give a piano solo. She will also accompany the Misses Sayeko Sugiyama and Sadako Oku when they give a Japanese dance.

On the program is little Miss Kiyono Wakaye, who won the first prize in the city piano contest a year ago.

POPULAR CLASSIC

The program follows:

1. Leola Waltz (Krogmann)— Kimiko and Yukiko Okamura.
2. Lullaby (Presser)—Marjorie Tamura.
3. Conversation (L. Orth)—Haruyo Nakano.
4. Cooing Dove (L. Orth)—Sadako Oku.
5. First Lesson (Krogmann)—Isako Mashihara
6. Goodbye Summer (Tosti) Defume (Sugiyama).

Miss Dorothy Fujita accompanied by Miss Eugenia Fujita at the piano.

7. March of Wee Folks—Miyokq Washizuka.
8. Avalanche (Hiller)—Kiyono Wakaye.
10. Minuet in G (Beethoven)
10. Minuet in G (Beethoven—Sayeko Sugiyama.
11. Merry Farmer (Schuman)—Himeyo Saito.
12. Elegie (Massenet)—Kazuko Nakajima.
13. William Tell Overture—Mr. Fukushima.
14. Merry Bobolink (Krogmann)—Kimiko Tsuji.
15. Ume-ni-wa Haru (dance)—Sayeko Sugiyama and Sadako Oku, accompanied by Miss Constance Power.
16. Vocal Solo ..... Guest tenor

Japanese Students Of Stockton Give Program at School

Special to The Japanese American News

STOCKTON, Oct. 18—Members of the Pan-Pacific History Club were the guests of honor at an entertainment presented Tuesday by the local Japanese Student Club in the high school auditorium.

The program was distinguished by colorful performances of Japanese girls clad in exquisite kimonos. They sang beautifully several Japanese songs, including the "Kojo-no-Tsuki," known in English as "The Moon over a Ruined Castle."

There was also an "odori," or Japanese dance by Miss Imamasu. Harmonica solos by George Kitahara and Ted Mirikitani and a ukelele solo by Luis Fukushima were also well rendered.

Much of the success of the program is due to the efforts of Miss Dorothy Horita, general chairman.

Blondes Popular In Nippon Avers Popular Mermaid

Do Japanese gentlemen prefer blondes?

Sure they do, and how!

So declared Miss Helen White, well known blonde mermaid, who recently returned from an educational tour of Japan. She spoke at a meeting of the P. T. A. of Lowell High School Thursday afternoon.

With other members of the Nichi-Bei Club who returned from the Japanese trip, Miss White entertained the audience with interesting stories concerning the attraction of blondes in Japan among the women as well as among gentlemen.

Miss White appeared in a beautiful Japanese kimono.

Other members who spoke were Miss Rae Larsen, who described her climb up Mt. Fuji; Miss Helen Lavelle, who praised the hospitality, kindness and courtesy of the Japanese people; and Harold Kuhn. The latter recited the history of the Nichi-Bei Club.

Tamotsu Murayama, the only Japanese member of the party to make the trip, spoke on the highlights of the tour. George Lorbeer, leader of the group, introduced the speakers.

Two hundred mothers attended the meeting.

WAKATSUKI AND TAKARABE WILL CONFER WITH HOOVER ON LONDON NAVAL PARLEY

Delegates to Leave Yokohama for Washington by Way of Seattle on Siberia Maru On Nov. 30—10-10-7 Ratio Sought

Special to The Japanese American News

TOKYO, Oct. 19—Ex-Premier Reijiro Wakatsuki, Japan's chief delegate to the five-power naval conference in London in January of next year, will leave Yokohama on Nov. 30 aboard S. S. Siberia Maru for Seattle and from thence to Washington.

This was the announcement made today by the Foreign Office.

Wakatsuki will be accompanied by Admiral Hyo Takarabe, Lord of the Admirality, who with Ambassador Tsuneo Matsudaira will be Japan's second delegates. Takarabe will be accompanied by his wife.

At Washington both Wakatsuki and Takarabe will confer with President Hoover in order to reach a preliminary understanding concerning the details of the coming.

The Foreign Office today published the text of Japan's reply to Britain's invitation to the London parley.

TOKYO, Oct. 18—(UP)—Japan will enter the inter-preliminary conversations with other naval powers prior to the five power naval conference in London, Baron Kijuro Shidehara, former minister, said today in a statement accompanying Japan's acceptance of the British invitation.

The Japanese delegation to the conference will go to London by way of Washington, where they will interview President Hoover. "These conversations will be simply designed to facilitate adjustment of matters in which Japan is particularly interested," the foreign minister's statement said.

Japan has made known that she desires an increased naval ratio of 10-10-7 with Great Britain and the United States rather than the Washington Conference ratio of 5-5-3.

The statement stressed the fact that Japan envisages limitations of naval arms as not menacing any other power but rather strengthening the feeling of security inspired by the Kellogg anti-war treaty.

The cabinet approved plans for the delegates to depart on the Siberia Maru for Seattle Nov. 30.

It is understood they will issue a statement after interviewing President Hoover at Washington. They will proceed to London from Washington.

Hagiwara Elected Leader of Local Buddhist Society

Expressing its full confidence in his leadership, the local Y. M. B. A. last week re-elected George Hagiwara as its president for the ensuing term. The election was held at the local Buddhist Temple on Pine street.

Hagiwara is not only a Buddhist leader but a prominent worker both in the Citizens' League and the Japanese Amateur Athletic Union. He is the president of the latter body.

The Y. M. B. A.'s new officers:

George Hagiwara, president; Wataru Iwasaki, vice-president; Minoru Furuki, rec'd-secty; Masaji Matsui, corr. secty.; Masayoshi Itatani, treasurer; Waichi Aoki, religious dep't.

Takeo Hashimoto, social dep't; Masami Isomura, athletic dept; Mitsugu Yoshinaga, oratorical dept.; Kaoru Morimoto, literary dept.; Masao Murata, sergeant-at-arms; Yusen Shimizu, custodian, Masatoshi Seiki, yell-leader.

500 ENJOY YUASA SING

Concert Sponsored on Friday by Sac'to M. E. Church

SACRAMENTO, Oct. 19—Appearing before more than half a thousand music lovers of Sacramento, Yeinen Yuasa, dramatic tenor, made a successful debut last Friday night at the American Center Church at his vocal recital. The affair was sponsored by the Ladies Aid Society of the local M. E. Church.

Of all the pieces the tenor sang at the recital, the Japanese compositions were given the most applause.

Miss Alice Mayeda, local talent, aided the singer with two piano solos, "Arabesque," by Debussy, and "Fantasy Impromptu" by Chopin.

The tenor Yuasa will appear at several recitals on the coast before his departure for the Orient.

OUR JUNIOR SECTION

NEW MEMBERS—Mollie Tsuyako Nagata, age 12, birthday January 6th, grade 7th, address Rt. 1, Box 415, Dinuba, California.

Yukiko Doris Tanouye, age 13, birthday July 4th, grade 7th, address Rt. 1, Box 345, Dinuba, Calif.

Marian Hanako Tanouye, age 11, birthday February 11th, grade 6th, address Rt. 1, Box 345, Dinuba, California.

Welcome to these three, who are friends and who play together nearly every day during summer.

They send us these jokes from the Farm Journal.

Percy: Many a heart was broken when I got married.

Flage: Heavens! How many women did you marry?

Henry: "Lot's wife had nothing on Mrs. Cook."

John: "How so?"

Henry: "Lot's wife looked back and turned into a pillar of salt. Mrs. Cook looked back and turned into a traffic light."

All three of these new members **ask for letters from old members.**

——Junior——

BIRTHDAY—21st Fumiko Sugihara
Dear Junior Editor:

We are not going to have school this week because they are going to have Teachers' Institute at Sacramento. I guess I have to spend this whole week doing homework—also writing letters.

I wish some of the Juniors would krite to me because I want to have true pen-pals—not those girls who quit after writing 4 or 5 letters.

Here are some jokes:

Maggie: "It's all over the school."

Bolt: "What?"

Maggie: "The roof."

"They say brunettes have sweeter dispositions than blondes."

"Well, my wife has been both and I can't see any difference."

Lovingly,

Molly N. Fujisaki, P. O. Box 404, Walnut Grove, California.

Fumiko, was your old address in Richmond?

——Junior——

You know how often we have printed jokes sent by Momoye Hase? Today we are printing the last one.

Do you know who wrote it, Momoye? It is a beautiul word-picture.

Momoye's joke:

Two Irishmen stood in front of a drug stor in Dublin. In the window was a display of rubber gloves.

"Now I wonder what is them things for?" asked one of the Irishmen.

"Oh," replied the other, "Ye can put them things on an' wash yer hands without gettin' your hands wet."

SENIOR SECTION

This letter was addressed to "The Japanese American News" so the English editors saw it first. I am delighted that they did, for they told me interesting things about the Tamalpais Club to which the writer belongs.

Dear Editor:

I have been very much interested in the development of the Junior and Senior Club of the Japanese American News. I would like to join the Senior Club. As I have not very many Japanese friends, I would be glad if I could get acquainted with some of the girls of my age. I assure them I will answer all of their letters.

If you have any spare time could you please enroll me as one of your permanent members of the Senior Club?

I thank you,
(NEW MEMBER) JEAN H. KANKI
Grade, high sophomore in high school; age 15 years; address P. O. Box 224, Mill Valley, California.

Welcome to you!

Jean, will you be so kind as to write something about the Tamalpais Club for the WEEKLY? I have heard of it these remarkably interesting things: that **it has had seven meetings, attended by 100 per cent of the membership; that the members are both Buddhist and Christians; that at the meetings Japanese is studied and worth-while subjects are discussed.**

The English editors of the Daily ask me to say that they too want news of the club whenever you can send it. What I should like for the WEEKLY is not exactly "news" in the sense of times of meetings, etc. but rather accounts of what you are doing. I wish I could attend such a club myself. Maybe you would allow me to come to some meeting? **It sounds like one of the finest clubs or societies of which I know.**

Do you sometimes talk of Western and Eastern Music? I hear that you are a musician (piano player) yourself. I have recently heard very beautiful Japanese flute and koto playing; the first by three men on board the Asama Kan and the second by a lovely young lady from Japan whose koto is a very old and valuable instrument.

With love to all members, new and old, Junior and Senior.

OBASAN